

No.	B02
タイトル	東京都市圏の中心市街地における端末物流の課題と今後の端末物流のあり方
所属・名前	<p>一般財団法人 計量計画研究所 都市交通研究室 主任研究員 福本 大輔</p> <p>株式会社ライテック 社会公共ソリューション部 第1課 谷 亮太</p> <p>株式会社日本能率協会総合研究所 交通・まちづくり研究部 交通政策研究チーム 高橋 淳一</p> <p>一般財団法人 計量計画研究所 次長 萩野 保克</p>
キーワード	① 端末物流 ② 中心市街地 ③ 東京都市圏物資流動調査
<p>中心市街地は、商業、業務、文化、娯楽など様々な機能が集積する地区であり、人だけでなく、多くの物資が集中する地域である。しかしながら、各施設に供給される物資を運ぶ端末物流は、地域内における路外荷さばきスペースの不足など、様々な課題を抱えている状況にある。</p> <p>そこで、東京都市圏交通計画協議会が実施した第5回東京都市圏物資流動調査(H25～H26)では、複数の中心市街地を対象として、端末物流の実態や課題を把握することを目的とした調査が実施された。また、その結果を活用し、「端末物流対策の手引き」が作成された。</p> <p>本稿は、調査から得られた中心市街地における端末物流の課題や近年の状況変化について報告するとともに、今後の端末物流のあり方についての知見を整理することを目的とするものである。</p>	